



細田中学校だより

3年生の性教育で、内緒で事前に保護者に書いてもらっていた手紙を読んで、生徒たちは涙を流していました。

卒業特集号（平成31年3月）

第72回卒業式 ～たくさんの思い出を胸に旅立ちました～

3月16日（土）に卒業式を挙行了しました。厳粛な中に凜とした姿勢、卒業証書授与での返事や礼など、細田中学校卒業生としてのすばらしい伝統が随所にうかがえました。

串間校長による式辞に続き、日南市教育委員会、作本PTA会長より心温まる祝辞をいただきました。安樂友唯さんが心をこめて送辞を述べたあと、19名の卒業生を代表して生徒会長の松岡花風さんが3年間の思い出と周囲の人への感謝の気持ちを述べ、会場の涙を誘いました。

式のエンディングでは、「道」を3年生が、「時を超えて」を全校生徒で合唱しました。男子生徒、女子生徒ともに涙で声になかなか出せない中、これまでの思い出を込めた精一杯の歌声が体育館中に響いていました。また、感激のあまり目頭を熱くされた来賓の方もいらっしゃいました。

環境整備員の方々に育てていただいた美しいペチュニア等の鉢花とスイートピーを会場いっぱいには飾りました。また、たくさんのご来賓、保護者の皆様が参列くださり、これまでお世話になった皆様からも祝詞を数多くいただいて、卒業の門出をお祝いしてもらいました。誠にありがとうございました。



3年間の感謝を込めて

これまで、授業や学校生活をサポートして下さった先生や事務室の先生、保健室の先生に、卒業を前にした3年生が思い出と感謝の気持ちをしたためた色紙を手渡しました。卒業生一人一人の素直さと心やさしさが伝わる思いがつつられていました。



卒業生にしおりをいただきました

3月8日（金）、更生保護女性会より6名の保護司の方が来校され、卒業を間近に控えた3年生に、薬物乱用の危険性についての話をしていただいたあとに、しおりをプレゼントしていただきました。また、一緒に給食をいただき、楽しく話をしました。人生の大先輩から、卒業の門出を祝福していただきました。ありがとうございました。



人権講話「わがままな手の祈り」

3月12日（火）、宮崎県男女共同参画地域推進員の黒木瑞季さんを講師に迎え、ご自身が身体は男性、心は女性である性同一性障害者として苦悩してこられた半生とLGBTについてお話ししていただきました。黒木さんは性別適合手術を受け、戸籍も男性から女性に改め、現在では自分と同じ境遇で苦しみ悩んでいる人々への支援などに、精力的に活躍されています。

生徒たちは、真剣に話しに耳を傾け、この講話をとおして、性別にとらわれず誰もが平等に生活できる世の中の創造に積極的に貢献していかなければならないと痛感していました。



4月の予定

5日（金）始業式・新任式	18日（木）全国学力・学習状況調査（3年）
9日（火）第73回入学式	みやざき学力調査（～19日 1・2年）
11日（木）交通安全教室	22日（月）家庭訪問（～25日）、新体力テスト
12日（金）県数テスト、県英テスト	23日（火）身体計測、視力・聴力・色覚検査
14日（日）参観日、PTA総会	24日（水）尿検査
15日（月）振替休業日	26日（金）心臓検診
16日（火）生徒会対面式	29日（月）昭和の日
	30日（火）国民の休日

